

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設	部門
問題番号	H30 II-2-1	選択科目 施工計画施工設備及び積算 科目		
答案使用枚数	1 枚目 枚中	専門とする事項 施工計画及び積算		

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1	.	施 工 計 画 を 立 案 す る 上 で 検 討 す べ き 項 目 (2 つ)												
		施 工 計 画 を 立 案 す る 上 で の 検 討 項 目 は 、 P Q C D S M E 上												
		複 数 あ る が 、 そ の 中 で も 重 要 な 安 全 管 理 と 工 程 管 理 に												
		つ い て 述 べ る 。												
		1) 安 全 管 理 上 の 検 討 事 項												
		現 場 は 1 車 線 が 通 行 可 能 な 状 態 の た め 、 一 般 車 両 の												
		通 行 を 確 保 し た 上 で 作 業 を 行 う 前 提 で 、 公 衆 災 害 と 労												
		働 災 害 防 止 の 両 面 か ら 安 全 管 理 を 行 う 必 要 が あ る 。												
		① 車 両 通 行 量 、 方 向 、 車 種 、 時 間 帯 の 把 握 と 迂 回 路 の												
		確 認 、 通 行 時 間 制 限 の 可 否 、 交 通 誘 導 体 制 の 検 討												
		② 安 全 な 掘 削 方 法 と 使 用 機 械 の 検 討												
		③ 異 常 気 象 時 の 監 視 ・ 通 報 、 配 備 体 制 の 検 討												
		④ 掘 削 時 、 の り 面 作 業 時 の 安 全 管 理 体 制 の 検 討												
		⑤ 切 土 防 護 柵 の 設 置 位 置 と 構 造 の 検 討												
		2) 工 程 管 理 上 の 検 討 事 項												
		現 場 は 公 道 内 で あ り 、 円 滑 な 資 材 や 土 砂 の 搬 入 出 経												
		路 と 仮 設 作 業 ヤ ー ド の 確 保 が 工 程 を 左 右 す る た め 、 こ												
		れ ら を 十 分 に 検 討 す る 。 特 に ク レ ー ン 作 業 ヤ ー ド や 吹												
		付 機 械 類 設 置 ヤ ー ド 、 資 材 類 の 仮 置 場 は 重 要 で あ る 。												
		① 掘 削 積 み 込 み 機 械 の 作 業 場 所 、 待 機 場 所 の 検 討												
		② 運 搬 車 両 の 進 入 退 出 経 路 、 待 機 場 所 の 検 討												
		③ 土 砂 、 資 機 材 の 仮 置 場 の 検 討												
		④ コ ン ク リ ー ト 打 設 方 法 、 運 搬 経 路 、 待 機 場 所 の 検 討												
		⑤ 移 動 式 ク レ ー ン ヤ ー ド の 確 保 可 否 の 検 討												
		2 . 安 全 管 理 上 留 意 す べ き 項 目 (2 つ)												

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設	部門
問題番号	H30 II-2-1	選択科目 施工計画施工設備及び積算 科目		
答案使用枚数	2 枚目 枚中	専門とする事項 施工計画及び積算		

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1)	通	行	車	両	等	の	安	全	確	保																								
理	由	:	現	場	は	1	車	線	の	通	行	が	確	保	さ	れ	て	お	り	,	迂	回	路												
が	な	く	通	行	時	間	規	制	も	困	難	な	場	合	は	,	道	路	を	供	用	し	な												
が	ら	作	業	を	行	う	こ	と	に	な	り	,	第	三	者	被	害	の	発	生	防	止	を												
第	一	に	考	え	る	必	要	が	あ	る	。																								
対	応	:	次	の	点	に	留	意	し	対	策	を	行	う	。																				
①	通	行	量	や	時	間	帯	の	把	握	と	作	業	内	容	の	調	整	。																
②	切	土	防	護	柵	は	現	地	条	件	に	適	合	し	た	高	さ	・	構	造	と	し	,												
	防	護	効	果	が	大	き	い	も	の	を	設	置	す	る	。																			
③	異	常	気	象	時	の	備	え	と	し	て	,	雨	量	計	・	伸	縮	計	・	警	報	装												
	置	の	設	置	。	迂	回	ル	ー	ト	の	確	認	と	事	前	整	備	の	実	施	。													
④	移	動	式	ク	レ	ー	ン	の	倒	壊	防	止	対	策	の	徹	底	。																	
2)	作	業	者	の	安	全	確	保																										
理	由	:	現	場	は	長	大	な	斜	面	の	う	え	に	,	周	辺	の	ゆ	る	み	に	よ												
る	再	崩	壊	も	考	え	ら	れ	,	墜	落	・	落	下	と	崩	壊	へ	の	巻	き	込	ま												
れ	に	注	意	す	る	必	要	が	あ	る	。	ま	た	限	ら	れ	た	空	間	内	で	の	作												
業	輻	輳	に	よ	る	事	故	に	も	注	意	し	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	。														
対	応	:	次	の	点	に	留	意	し	対	策	を	行	う	。																				
①	斜	面	状	況	(亀	裂	や	湧	水	流	水	の	有	無	,	土	質	,	走	向	傾	斜	,											
	転	石	,	植	生	状	況)	の	確	認	と	事	前	対	策	の	実	施	。															
②	斜	面	監	視	員	の	配	置	と	斜	面	変	位	警	報	装	置	の	設	置	。														
③	作	業	手	順	の	確	認	と	徹	底	,	安	全	装	備	の	確	実	な	使	用	と	無												
	理	な	作	業	の	禁	止	。																											
④	重	機	動	作	範	囲	内	へ	の	立	入	禁	止	,	保	安	要	員	の	配	置	,	合												
	図	の	徹	底	,	過	負	荷	の	禁	止	。																							
																								以	上										

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。